

●Oscilloscope SCPI Controller取説(ver2.0.0)

本ドキュメントはEasygoing Labo.netのサイトにアップロードされている「Oscilloscope SCPI Controller」のソフトウェアのマニュアルになります。

◇インストールについて

①Python3をインストールしてください。



②コマンドプロンプトからモジュールをインストールして下さい

このコードで使用されているモジュールのうち、標準ライブラリに含まれていないものは以下の2つです：

- ・pyvisa
- ・PIL (Python Imaging Library)
- ・numpy

【インストールコマンド】

```
pip install pillow pyvisa numpy
```

◇ソフトウェアについて

下記環境のように接続してください。（OscilloscopeはUSBの接続に設定してください。）

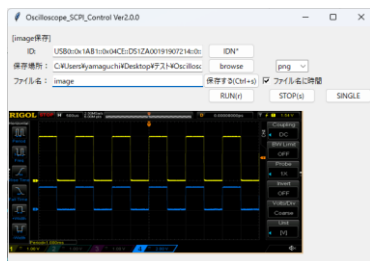
※オシロスコープのドライバが必要な場合は事前にインストールをしてください。

またSCPIコントロールするためにNI-VISA等のファイルをインストールしてください。



①「start.bat」をダブルクリックし、実行してください。

②下記画面が表示されたら設定をしてください。



・ID：オシロスコープに記載されているIDを入力してください。入力後IDN*を実行し、接続を確認してください。

※間違えていた場合、何も反応がありません。成功時はメッセージボックスが出ます。

・保存場所：browseを押して保存場所を選択してください。（初期値は同フォルダのimageフォルダになります。）

・ファイル名：保存したいファイル名を記入。そのあと保存するでファイルをパソコンに保存します。

・コンボボックス：保存方法を「png」、「jpg」、「bmp」、「csv」に設定する。

チェックボックス_ファイル名に時間：ファイル名に時間にチェックを入れるとファイル名の最後に時間が入力されます。これにチェックを入れることでファイル名が同じでも上書きされる心配がありません。

・保存する:画像またはCSVファイルを保存します。保存が成功したらメッセージボックスが表示されます。

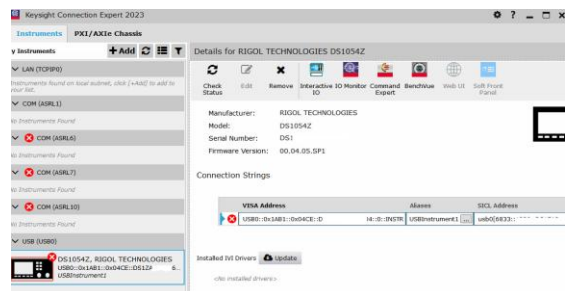
・RUN：オシロスコープのRUNボタンになります。

・STOP：オシロスコープのSTOPボタンになります。

・SINGLE：オシロスコープのSINGLEボタンになります。

【備考】

オシロスコープの設定が面倒な人はkeysight Connection ExpertでUSB接続したオシロスコープのIDを簡単に確認することができます。



更新内容

Ver2.0.0

- ・キーボードでの保存「Ctrl+s」,Run「r」,STOP「s」追加。
- ・画像の保存形式変更を追加(jpg,png,bmp)
- ・csv保存追加

サイト：Easygoing Lano.net

URL：https://ssl.xrea.com/easygoinglabo.g2.xrea.com/